

日本海ケーブルネットワーク株式会社

(以下「NCN という」)

2008 年秋期放送番組審議会議事録

- ・開催日時：2008 年 9 月 9 日（火）13：30 から 15：30
- ・開催場所：鳥取市富安 2 丁目 1 3 7 番地、日本海新聞本社ビル 6 階会議室
- ・出席審議委員数：7 名
山内 益夫（会長）
見生 義明
鈴木みどり
沖 時枝
長田 司
岡本 保夫
森原 昌人（順不同 敬称略）

・議案

審議事項・・・NCN制作番組に関する意見交換

（審議前に下記の番組VTRを視聴）

- ① 4月改編番組（ピットステーション）について
「日本海新聞デスク解説」「ガイナーレ応援団 No.12」
「NCN 討論会 百客良論」
- ② 新チャンネル「安心・安全チャンネル」とハイビジョン化について
自主制作番組のハイビジョン化
新チャンネル「安心・安全チャンネル」
鳥取市との「災害時等における放送要請に関する協定」
- ③ 地域連携について
とっとリンク
韓国江原道
山陰地区番組研究会「さんいん TODAY」

・審議の要旨概要

(以下 ○印・・・審議委員からの意見、●印・・・NCNからの回答)

<4月改編番組について>

- 自主番組放送は「長足の進歩」と感じている。番組の数も増えて見やすくなった。それだけに地域に果たす役割も重くなっている。
 - 「百客良論」は出演者の名前や肩書きなどをその都度、テロップで表示してほしい。また、内容についてもテロップ文字などで工夫して表現すればもっと見やすくなる。その時々課題をテーマにしており、いい番組だと思う。
 - 「百客良論」のテーマは一回で終わりにしないで、同じテーマでさらに追求する番組を期待したい。そうすることでもっと関心と呼ぶことができる。また視聴者から討論会についての意見を募集するようにしてほしい。
 - 「日本海新聞デスク解説」は一週間の予定を解説する時に、予定表を画面で見せたり、字幕をつけたり画面上の工夫があればもっと見やすくなると思う。
 - 「ピットステーション」でのアナウンサーの服装が暗い色が多いので、もっと明るい色にしたほうがよいと思う。
 - 新聞に一週間の番組表が掲載されるようになってわかりやすくなった。自分が住んでいる地域の話題があれば注意して見るようになった。
- 「百客良論」については事前にテーマをお知らせして、視聴者からの意見を募集する仕組みを考えてみたい。一方通行ではなく、できるだけ双方向の番組づくりを心がけたい。

<「安心・安全チャンネル」とハイビジョン化について>

- 「安心・安全チャンネル」でのL字テロップのスクロールの速度が速いと思う。お年寄りなどはもっと遅いほうが見やすいのではないか。
 - 「NCN 中部チャンネル」で日本海新聞ニュースのL字テロップと地域自治体情報のテロップの速度が違い、見にくく感じる。
 - 防災という大きな枠組みの中で、「メディア」と「防災計画」をどう位置づけるかという問題がある。最近は特定の地域にだけ集中して雨が降るケースもあり、視聴者が戸惑うことがあるのでは。
 - デジタル放送について理解していない人が多い。もっと情報提供してほしい。
- テロップのスクロール速度は調整できるので、ご意見を参考にしながら調整していきたい。
- 「安心・安全チャンネル」のL字放送は、防災無線や携帯電話の「安心安全メール」などの防災情報を補完するチャンネルと考えている。8月に3回警報を放送したが、警報発令中はずっと警報情報がテロップで流れている。今後も行政機関と連携して地域の安心、安全に役立つチャンネルとして機能を充実させていきたい。

<地域連携について>

- ケーブルテレビでのコミュニティーの定義について局側ではどのように考えているのか。
- 倉吉市や三朝町に住んでいる住民にとっては岡山県北部の情報や、鳥取市の住民であれば兵庫県北部の情報も関心があると思うが、それらの地区のケーブルテレビ局と連携する予定はないか。
- NCN では鳥取市、倉吉市、三朝町で生活している住民にとって有益な情報をコミュニティーチャンネルで取り上げるようにしている。したがって放送エリア外の情報についても地域にとって有益な情報であれば、取材対象だと考えている。
- 鳥取テレトピアの2チャンネルとNCN中部チャンネル、そしてNCNピットステーションが役割分担しながら、それぞれの特徴を生かした番組づくりをしていきたい。
- 兵庫県北部や岡山県北部のケーブルテレビ局との連携も情報収集し、検討してみたい。

<その他>

- 地域でもビデオカメラを持っている人も多い。地域に密着した情報を集めるために地域情報員を作ってはどうか。
- 次世代学生会議の中継は大変よかった。今後はNCNでも人口減少や少子化、環境問題などの課題も地域の問題として取り組んでほしい。
- NCNはメディアに対する要求に対して何が出来るのか、テレビを使って何が出来るのかをはっきり出してほしい。
- 少子高齢化、環境問題などについても検討してほしい。
- NCNでは関金の里見まつりの映像を関金ビデオクラブに撮影をお願いして放送した実績もある。社内にビデオ貸し出し規定もあるが、利用は少ない。
- 地区公民館との連携を含め、NCN側からもっと働きかけて地域の映像を集める取り組みを検討したい。
- 視聴者の要望、ニーズを聞きながら、優先順位を決めて番組づくりに取り組みたい。

以上